



シルバーライフに輝きを。 ～高齢者の福祉を身近にわかりやすく～



vol.59 2021.9

主な内容

- ▶ 心でつなぐ、地域でつなぐ、認知症
- ▶ いきいき百歳体操自主運営教室
- ▶ 100歳おめでとうございます

編集・発行
健康福祉部 いきいき健康課

今月号に掲載の催しなどは新型コロナウイルス感染症の影響により中止または延期となる場合があります。催しの詳細は、市ホームページなどをご確認ください。

今月のかけ橋人

認知症を知る

かける **橋本人**



認知症キャラバンメイト
萩原 弘美さん (三石台)

認知症の人がこのまちで安心して暮らしていけるように、認知症についての正しい知識を普及啓発するのが認知症キャラバンメイトです。橋本市では123人が登録されています。市内の小学校に出向いて「認知症とは」「認知症の人に会った時の声掛けはどうしたらいい」など、具体的でわかりやすい認知症学習を実施しています。学んでいる時の子どもたちの取組む姿勢や真剣な眼差しを見ると感激します。これからも誤解や偏見なく皆さんに認知症の人と関わってもらえるよう、日々努力していきます。

● **認知症が疑われるサイン**

- ・ 同じことを何度も言う
- ・ 置き忘れなどが増え、いつも同じ物を探している
- ・ 新しい物事を覚えることができない

認知症は5人に1人が発症するといわれています。いろいろなことが原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりして、生活に支障をきたしてしまいます。体験したことの一部を忘れてしまう「加齢による物忘れ」とは違い、体験したこと自体を忘れてしまうことが主な症状です。

★ **心でつなぐ、地域でつなぐ、認知症**

認知症になっても、何もできなくなるわけではありません。認知症の発症により、たとえ何かできなくなっても、家族や地域の人が少し手を差し伸べるだけで、誰もが安心して暮らすことができます。今回は、認知症の人たちとの向き合い方や地域全体で支えるための取組みなどについて紹介します。

高齢になるほど 発症リスクが上がる

2025年、団塊の世代が75歳を迎え、4人に1人が後期高齢者となります。このような状態を超高齢化社会といいますが、認知症高齢者の数は、現在の631万人から730万人になると推測されています。橋本市では、介護保険における要介護認定を受けた人のうち、46.3%の人に認知症の症状がみられます。そのうち、75歳以上の人が90.6%と大半を占めています。このことから、高齢になればなるほど、発症する可能性が高いことがわかります。

目次

- 3 特集 きらり vol.59
- 8 特集 防災月間
- 10 情報ワイド
 - ▶ こども食堂を紹介します
 - ▶ 公立幼稚園・私立こども園の園児(1号認定子ども)募集
 - ▶ まっせ・はしもと など
- 13 情報ひろば
- 18 タウン情報
- 19 子育てぱーく
- 20 本のひろば
- 21 健康カレンダー
- 22 フォトトピックス

今月の表紙



認知症と
共に生きる

腕につけているオレンジリングは、認知症サポーターの証です。サポーター養成講座を受講するともらえます。